

2026 年度 事業計画(活動目的・活動方針)

「活動目的」

LD等の発達障害のある人の保護者や親の会との交流・連携に取り組むとともに、LD等の発達障害に対する支援や社会的理解の向上を図り、発達障害のある人およびその家族の福祉の増進に寄与することを目的とする。

「2026年度の活動方針案」

子どもの権利を守り、子ども・青年の最善の利益を図りながら、その多様性が尊重され、自分らしく暮らしていけるよう、以下の活動に取り組んでいく。

1、LD等の発達障害に関する研究事業

LD等の発達障害のある人に対する教育・福祉・医療・労働などのあり方について、関係機関・関係団体と交流・連携しながら、調査・研究を進め、発達障害者支援法の理念がすみやかに実現されるよう積極的に取り組んでいく。

《事業項目》

- ① 日本LD学会第35回大会参加(親の会企画シンポジウム・各地の親の会ポスター展示)(12月)
- ② 「教育から就業への移行実態調査Ⅴ」報告書作成(11月)

2、LD等の発達障害に関する理解啓発事業

LD等の発達障害に対する社会的な理解向上を図るため、インターネット配信、講演会、冊子の作成、配布、出版等の広報活動を行っていく。理解啓発冊子の作成・出版活動を積極的におこない、事業収益の安定化を図っていく。

《事業項目》

- ① 全国LD親の会第25回公開フォーラムの開催(オンライン配信)(6月)
- ② 全国LD親の会第25回公開フォーラムのオンデマンド配信(7月)
- ③ 特別支援教育支援員養成ビデオ講座の開催(オンライン開催)(8-11月)
- ④ ディスレクシア月間企画(10月)
(図書館における読書バリアフリー法による書籍充実要望の取り組み)
- ⑤ 会報「かけはし」の発行(年2回)(4月・11月)
- ⑥ 全国LD親の会ホームページやブログの運営・管理
- ⑦ 「発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック～親の会30年の経験から～」編集発行

3、LD等の発達障害のある人及び家族等の支援事業

特定非営利活動法人全国LD親の会の正会員団体およびブロック活動への支援を通して、会員団体であるLD親の会の組織強化・活性化を図る。

《事業項目》

- ① 会員向け行政勉強会(オンライン開催・年3回)
居住サポート住宅について～住宅セーフネット法に基づく住まいの支援～(7月)
教育施策勉強会:(10-11月)
厚生労働省施策勉強会:(1-2月)

② 研修会

- ・役員対象研修会「相談を受ける人のメンタルケア」(10-11月)
- ・会員向けテーマ別研修会

③ 会員交流会の開催(オンライン開催)

- ・防災についての情報交換会(9月)
- ・学齢期保護者対象テーマ別情報交換会

④ 各会役員交流会(オンライン開催)(4月・8月・10月・12月・2月)

- ・各会の運営に関する悩みや課題を共有し、ともに考え、学ぶ場にする

⑤ 各会講演会データベースの作成(4月)

⑥ 親の会設立支援

4、LD等の発達障害のある人に対する支援・制度の充実に向けた事業

- ・LD等の特別な教育的ニーズを持つ幼児・児童・生徒を支援の対象に加えた特別支援教育が、着実に拡充・定着するよう、国および地方自治体などに対する要請行動をより積極的に展開するとともに、特別支援教育をサポートする一員として積極的に活動していく。
- ・LD等の発達障害のある人が自立した生活を送るために、安定して働き続けていけるよう、支援・制度の充実に取り組んでいく。
- ・発達障害者支援法の理念が実現し、LD等の発達障害のある人が適切な支援を得て、生き生きと自分らしい生涯を送ることができるように関係機関、関係団体と連携して、具体的な制度の充実に取り組んでいく。

《事業項目》

- ① 2027年度予算要望書の提出(5月)
- ② 日本発達障害ネットワーク・全国特別支援教育推進連盟・日本障害者協議会等関係団体との連携
- ③ 省庁における検討委員会への参加